



# 浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.898 2018.01.17(水)

2017~18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー  
RI2620 地区 ガバナー 松村 友吉 (焼津RC)

Hamamatsu  
Harmony RC  
Weekly  
Bulletin

## 会長挨拶

古川雅康

皆様、こんばんは。  
先週 12 日、浜松中ロータリークラブの創立 31 周年記念例会が聴濤館で開催され、私と高部幹事とで参加して参りました。少女和太鼓の魁鼓 500 のステージや元応援団の新会員のエールなどで和気あいあいとした雰囲気でも盛り上がり、中クラブは既に新会員が 10 名入会して 52 名となっており、勢いを感じました。



今月の「ロータリーの友」に、今年度 RI 会長のイアン・ライズリー氏が『多様性はロータリーの強み』というメッセージを寄稿されていました。その文の中で、多様性に関して早急に取り組まなければならない課題として、会員の年齢層とジェンダーの問題を挙げて、将来に向けて活動を継続させていくには特に若い会員と女性会員の獲得が重要であることが語られていました。ロータリーの奉仕活動が地域社会に対して更に一層変化をもたらす存在となるべく、私たちも親クラブの中クラブに負けず頑張らねばと思った次第です。

さて、先日、国際ロータリーのバリー・ラシン会長エレクトが米国サンディエゴで開催されたロータリー国際協議会の中で、次期地区ガバナーに向けて 2018-19 年度の RI テーマを発表されました。次年度 RI テーマは「インスピレーションになろう」です。国際ロータリーも次年度に向けて準備が始まっております。我がクラブも次週 24 日からいよいよ次年度理事会が開催されます。今年度の活動に重ねて次年度事業の準備も本格的に動き出しますので、いろいろとあわただしくなって参ります。お忙しいところかと存じますが、何卒ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。それでは、本日も有意義な例会となりますようお願いいたします。

## 幹事報告

配布物：ロータリーの友 1 月号、次週例会及理事会のご案内 回覧：IM 出欠表

## 地区役員 委嘱状授与

次年度地区役員の皆様 → 岩澤秀治会員、中村皇積会員、高部千奈美会員、古川雅康会員、竹内恵子会員、山口勝義会員、影山忠弘会員



## 出席報告

出席率 37 名中 22 名 (59.46%)  
修正出席率 82.05%

## 卓話「ロータリー精神を学ぼう」中村皇積会員

先月、テレビで「カンブリア宮殿」という番組を見ました。そこに、ロータリー精神に共通する考え方を感じたので、今日は是非みなさんと一緒にその番組を見たいと思います、加茂会員にお願いして再生していただきました。どうぞご覧ください。



(以下番組要約)

処分される食品を集めて困っている人々や団体に届ける取り組みをしているのが「フードバンク」だ。フードバンクは 1960 年代に米国で始まり、日本では 2002 年に国内初となるフードバンク、「セカンドハーベスト ジャパン」が誕生。率いるのは、アメリカ人のチャールズ マクジルトン。

食品製造メーカーや農家、個人などから、まだ充分食べられるにも関わらずさまざまな理由で廃棄される運命にある食品を引き取り、それらを児童養護施設の子供たちや、DV 被害者のためのシェルター、路上生活をしいられている人たちなどの元に届ける活動をおこなっている。恵まれない人を助ける という目的だけではなく、だれもが食べ物にアクセスできるセーフティネットの構築を目指している。今や食料支援の代表的な存在となったセカンドハーベスト。支援企業の数もスタート当初はわずか 2 社だったが、現在は 1,400 社にまで増えた。

「もったいない」を「ありがとう」に変える奇跡の食料支援活動。考え方も行動もフェアだ。「可哀そうだから助ける」のではなく、「ここに温かい食事があるから、よかったらどうぞ」と呼びかける。「食べさせる」という日本語に疑問を抱いたチャールズの哲学がここにある。「共に生きる」という意味を、シンプルに示している。



## スマイル

竹内恵子 (例会前に 20 周年実行委員会にご参加の皆様、ありがとうございます。望月委員長が、インフルエンザとのことで早退されましたが、皆様もくれぐれもご自愛ください。)



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場 1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp